

響き合い

中央小 学校だより
令和5年9月22日(金)
No. 13 文責 門岡

学校教育目標 「ふるさと美里を愛し、人を大切にし、夢に向かって努力する中央っ子の育成」

保小中連携教育講演会

9月15日(金)午後
6時30分より中央中校



区の「保小中連携」教育講演会が中央庁舎大会議室で開催されました。講師は玉川大学教授、大豆生田啓友(おおまめうだひろとも)先生で、子育てに対する意識を国民全員が高めることの重要性

について、保育園、学校、家庭、地域のそれぞれの立場で考えさせられるとても充実した講演会でした。大豆生田先生のユーモアを交えながらのお話は90分の時間があっという間でした。

「幸せな子どもを育てるために・・必要を力」

講演の中で印象に残った2つを紹介します。



- 1 子ども達が幸せになるためには、心に安全基地を持つ。安全基地とは、子どもの心のよりどころ、安心できる人がいるということ
- 2 子ども達に育てたい3つの力
 - 目標に向かってがんばる力(・忍耐力(粘り強さ)・自制心(がまんする力)・意欲など)
 - 人と関わる力(・人の気持ちを感じる力・思いやり・共感)
 - 気持ちをコントロールする力(・自尊心・自信・ルール順守)

やっと秋らしく


先週から、朝夕はだいぶ涼しくなってきました。秋と言えば、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われます。スポーツでいうとラグビーのワールドカップも熱戦が繰り広げられています。チリに勝った日本は、17日強豪イングランドには後半地力の差が出て敗れました。しかし、最後まであきらめず粘り強く戦った選手の姿勢はすばらしいと思いました。スポーツ観戦の秋もいいですね。

シリーズ ～先生の子どもの頃～ 山下 文先生



今年も1年生とどどもに頑張っています。よろしくお願ひします。



- Q どんな赤ちゃんでしたか…小さく生まれて身軽だったので、10か月で歩いたと聞いています。
- Q 幼少期はどうでしたか…姉の後ろについて回って、真似をしていたようです。
- Q 幼少期の夢中になっていた遊び…ゴム跳びです。 
- Q 子どもの頃得意だったことは…誰とでもすぐに仲良くなれていたことです。(大きくなるにつれてそうはいかなくなりましたが……)。
- Q 子どもの頃一番嬉しかったこと…小学2年生の時、初めて逆上がりができる時、担任の先生がたくさんほめてくださったことです。
- Q 子どもの頃、流行っていた歌は…ピンクレディーの曲をみんなで踊りながら歌っていました。
- Q 子どもの頃、よく見ていたテレビ番組は…「プリンプリン物語」という人形劇と「大草原の小さな家」です。
- Q 小さいころの夢は…子どもが大好きだったので、子どもと関わる仕事をしたいと思っていました。(夢かないました)